

持続可能な行財政 運営について



高瀬 重嗣 議員



質問…土地開発基金で先行取得する際の一般的な決定過程について伺います。

答弁…所管課が作成した土地取得計画書に基づき、経営管理部の精査を経たのち、市長決裁を経て、担当課が手続を行い、契約・取得となります。

質問…昨年度の旧ミール跡地の取得計画書について伺います。

答弁…同年12月に都市計画課か

ら経営管理部に都市計画道路や中央多目的公園の臨時駐車場の用地として895.33㎡を見込額3600万円で取得する計画書が提出されました。

質問…市営新富町駐車場廃止の際、中央立体駐車場の存在が広く周知されていることから利便性は損なわれないとの答弁があったが、これに関してどのように認識が変わったのか伺います。

答弁…認識は変わっていませんが、公園を利用する方には近いほうがよいので取得しました。

質問…駐車場の要望書の提出はあったのか伺います。

答弁…把握している限りありません。

質問…道路の完成予定の時期について伺います。

答弁…未定であり、相当の年月が見込まれます。

一般質問



前田 則隆 議員



未就学の発達障害児等への支援について

質問…現状の課題認識と具体的な取組について伺います。

答弁…5歳から6歳までの幼児については、教育委員会と連携して成長を確認し、必要とされる幼児には「ぼく・わたしの成長シート」を作成し、小学校に引き継ぐことで、切れ目のない支援を実施しています。令和7年度の新入学児童447名のうち、約2割の児童のシートを作

成しました。また、小学校から保育機関への成長のフイードバックが行われるなど、幼稚園、保育園、小学校の連携体制が構築されており、発達障害の早期発見・早期支援に取り組んでいます。

質問…相談者が同じ内容を何度も話すことがないように、相談内容をどのように共有しているのか伺います。

答弁…今年度、こども支援課内に設置した大田原市こども家庭センターが、最初の相談窓口になります。ここで受けた相談内容は、関係する全ての機関と共有されるため、同じ内容を何度も話す必要はありません。幼稚園や保育園で得られた情報等についても、全て就学時につなげるような状態で共有しています。